

学校施設の更なる活用に向けた市民アンケート ～公共施設マネジメントの取組～

府中市では、公共施設（建築物）を自治体経営の視点から総合的に企画、管理及び有効活用していくため、平成24年5月に「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、施設の量と質の両面で見直しを進めています。また、平成26年8月には、各施設における検討内容やスケジュールなどを定めた「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を策定しました。

同プランでは、取組全体の推進力を高めていくためのモデル事業を定めており、今年度は「学校施設の更なる活用」として、様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールと地域プールの課題の整理や活用方法、学校施設の複合化など、将来を見据えた検討を行っています。

この検討に当たり、学校施設等に関する市民の皆様のご意見をお伺いし、今後の参考資料とするため、「学校施設の更なる活用に向けた市民アンケート」を実施することとしました。

つきましては、お忙しいところ誠にお手数をおかけしますが、本アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年9月

府中市 行政管理部 建築施設課

【実施方法・個人情報の取扱い】

- 本アンケートは、府中市が、発送及び集計業務を（株）日本経済研究所に委託し、実施するものです。
- 平成27年9月1日時点において、府中市にお住まいの20歳以上の方を対象に、無作為に3,000人の方を抽出し、送付させていただきました。
- 氏名の記入は不要であり、回答結果は統計データの作成のみに使用いたしますので、個人が特定されることはありません。なお、集計結果につきましては、市ホームページ等で公表いたします。

【記入に当たって】

○記入が済んだアンケート用紙は、同封の返信用封筒にて、10月13日（消印有効）までにご返送くださいますようお願いいたします。切手は不要です。

○本アンケート中では、特に記載のない限り、「公共施設」とは庁舎や文化センターなどの建築物と定義します。

○本市における公共施設に関する取組は「公共施設マネジメント」と言い、概要については、別紙の参考資料をご覧ください。

なお、取組に関する詳細な資料（白書や基本方針、第1次府中市公共施設マネジメント推進プランなど）につきましては、市ホームページや図書館でご覧いただけます。

府中市ホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）

行政情報のタブ

→【計画・審議会・協議会】→【計画】→【公共施設分野】→【公共施設マネジメントの取組】
<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gyosei/kekaku/kekaku/koukyoushisetu/koukyousisetuman ejimenntonotorik/index.html>

○記入に当たって不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

<問い合わせ先>

府中市 行政管理部 建築施設課

〒183-8703 府中市宮西町2丁目24番

TEL 042-335-4358 FAX 042-366-7752

E-mail kenchiku04@city.fuchu.tokyo.jp

※この用紙は返送不要です。

1. 公共施設マネジメントの方策について

市民共有の財産である公共施設について、将来の市民に負担を先送りすることなく、適切に引き継いでいくためには、様々な視点で検討する必要があります。具体的な例として、以下のような方策が挙げられますが、これらについて、それぞれどのようにお考えになりますか。4つの選択肢から**1つずつ**選んで、○を付けてください。

選択肢凡例

1 実施すべき 2 どちらかといえば実施すべき 3 どちらかといえば実施すべきではない 4 実施すべきではない

方 策	選 択 肢			
① 現在ある施設の統廃合や機能の複合化・共用化によって施設の総量を減らす 【利点】限られた予算をより必要なところに、重点的に充てることが期待できます	1	2	3	4
② 近隣自治体と共同で施設を建設・運営する 【利点】限られた予算をより必要なところに、重点的に充てることが期待できます	1	2	3	4
③ 施設の更新や管理運営に民間のノウハウや資金を活用する 【利点】事務の効率化や費用の低減、サービス水準の向上が期待できます	1	2	3	4
④ 地域に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持管理を行う 【利点】安全性に影響がない範囲で、従来よりも税金利用を抑えることができます	1	2	3	4
⑤ 建替ではなく、現在の施設を改修し、できるだけ長い間使用する 【利点】施設の寿命を延ばすことで、建替に係る経費を抑えることが可能です	1	2	3	4
⑥ 施設の一部や土地の売却・貸付けによって収入を得る 【利点】不足する施設の保全費用等に貸付等の収入を充てることが可能です	1	2	3	4
⑦ 施設におけるサービス水準を全国的な水準などを参考に引き下げる 【利点】将来人口や財政状況に対応し、従来よりも運営経費を抑えることができます	1	2	3	4
⑧ 使用料を徴収できる施設では、使用料を引き上げる 【利点】利用者が負担する割合を高め、不足する施設の保全費用等を確保することが可能です	1	2	3	4
⑨ その他（具体的に） 				

また、①～⑧の方策で、特に「実施すべき」あるいは「実施すべきではない」と思うものがございましたら、それぞれ該当する方策を**1つ**選んで○を付け、その理由を記入してください。

<p>・特に「実施すべき」と考える方策（1つ選択）： ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧</p> <p>理由（具体的に）</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
<p>・特に「実施すべきでない」と考える方策（1つ選択）： ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦、⑧</p> <p>理由（具体的に）</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

(3) プールの利用状況等について

学校プールの開放を検討するに当たり、プール全般に関する利用状況や考え方を、おうかがいします。

- ① 今年の夏（7月18日から8月31日までの間）に、あなたはプールを何回利用しましたか。回答欄にあるプールごとに、「利用した」、「利用しなかった」のどちらか1つに○を付けるとともに、利用した場合は、該当する利用回数を1つ選んで○を、利用しなかった場合は、その理由を次の選択肢から1つ選んで○を付けてください。

利用しなかった理由（選択肢）	
<p>※利用しなかった場合は、その理由を次の選択肢の中から1つ選んで、回答欄に○を付けてください。</p>	<p>ア 施設の存在やサービス内容を知らない イ 建物、サービス、利用時間、使用料などに不満がある ウ 他の市区、国や都の施設を利用している エ 類似の民間施設を利用している オ 利用する必要がない</p>

- ※記入例 ・市民総合プール（郷土の森総合プール）は、5回利用した。
 ・市民プールは、「施設の存在やサービス内容を知らない」から利用しなかった。

施設名	利用状況 (番号に○)	詳細 (利用回数、または利用しなかった理由を選択)
市民総合プール (郷土の森総合プール)	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
市民プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ

回答欄

施設名	利用状況 (番号に○)	詳細 (利用回数、または利用しなかった理由を選択)
市民総合プール (郷土の森総合プール)	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
市民プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
小柳プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
白糸台プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
西府プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ

【施設は、次ページに続いています。】

武蔵台プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
新町プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
美好水遊び広場	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
生涯学習センター 温水プール	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ
その他民間のプール (市外含む)	1 利用した	→【利用回数】 1) 8回以上、2) 4回～7回、3) 1～3回
	2 利用しなかった	→【利用しなかった理由】 ア、イ、ウ、エ、オ

② プールの利用者数は、別紙資料4ページのとおり、ピーク時に比べて減少しています。

今後、市が整備するプールの利用者を増やすためには、安全性に加え、どのような要素が必要であると、あなたは考えますか。該当する選択肢に○（**3つまで**）を付けてください。

1 広くて、泳ぐ練習ができるプール	
2 泳ぎ方を教えてくれるプール	
3 自由に遊べるプール	
4 子どもだけで遊ぶことができるプール	
5 浮き輪などの道具で遊べるプール	
6 すべり台などの遊具があるプール	
7 きれいなプール	
8 小さな子どもでも足がつく、浅いプール	
9 市内のどこからでも行きやすいプール	
10 室内（温水）プール	
11 民間事業者が運営するプール	
12 その他 []

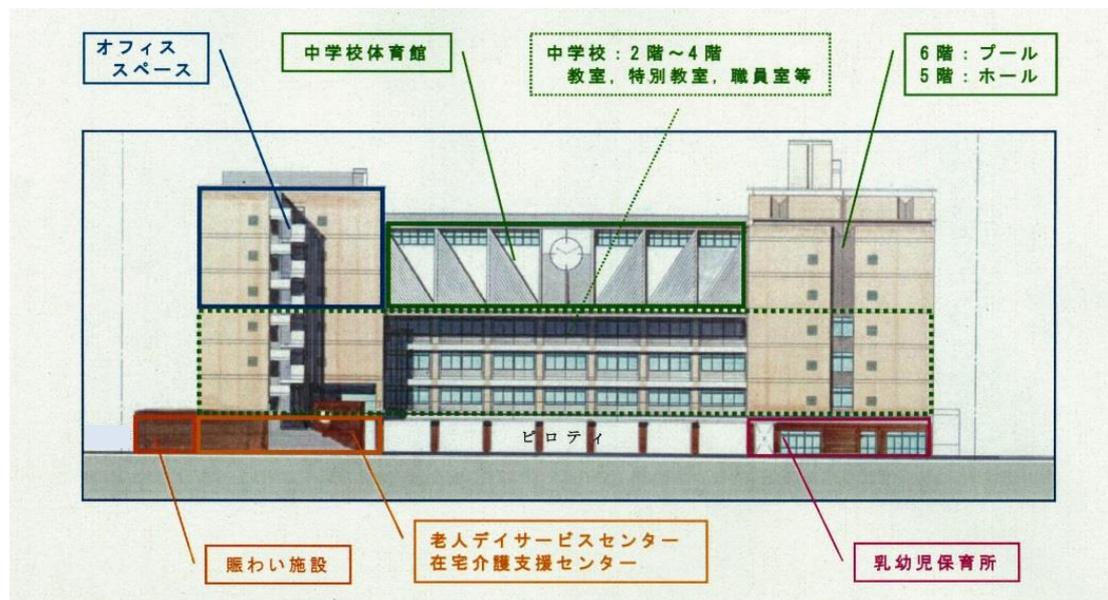
(4) 学校施設の複合化について

学校施設は、一般的に、教室や体育館など、学校教育のための機能だけで構成される施設ですが、近年は、他の機能との一体的な整備（複合化）を行う自治体が増えてきました。これは、児童生徒数の減少に伴う学校施設の有効活用という側面と、地域コミュニティの拠点としての活用という側面があります。

【学校施設の複合化の例】

- 老朽化した学校を改築する際に、行政の出張所機能や地域包括支援センターを併設したほか、学校プール（屋内プール）を地区プールとしても開放しやすいように整備した。
- 学校の余裕教室を保育所として整備した。

学校複合化のイメージ図



【他自治体の例より】

なお、複合化する際には、利用者専用の動線を設けるなど、児童生徒の安全性を確保したり、音などが教育上の支障にならないような配置にしたりなどの配慮が必要となります。

学校施設の複合化について検討をする場合、あなたはどのような施設と複合化することが効果的だと思いますか。該当する選択肢**全て**に○を付けてください。

- 1 学童クラブや保育所などの子育て支援施設
- 2 高齢者サービスセンターなど的高齢者福祉施設
- 3 公民館や集会所などの地域住民の利用施設
- 4 災害時に利用できる施設
- 5 その他（具体的にご記入ください。）

[複合化に適している施設 :

]

- 6 学校施設の複合化は行うべきではない。（理由をご記入ください。）

[理由 :

]

③ 地域プール

	施設名	運営時間	運営日数 ※1	利用者数 ※1				使用料 ※2		
				総数(市内率)	大人	高校生	中学生以下	大人	高校生	中学生以下
1	市民プール	第1回 10:00~12:00	38日	10,086人(96.1%)	5,249人	98人	4,739人	100円	60円	30円
		第2回 13:00~15:00								
2	小柳プール	第3回 15:30~17:30	ナイター 18日	1,686人(95.4%)	1,061人	76人	549人	150円	100円	60円
		ナイター18:00~20:00								
3	白糸台プール	第1回 10:00~12:00	38日	8,020人(98.7%)	2,301人	12人	5,707人	100円	60円	30円
4	西府プール	第2回 13:00~15:00	38日	6,055人(97.9%)	2,050人	26人	3,979人			
5	武蔵台プール	第3回 15:30~17:30	38日	6,811人(73.0%)	2,195人	32人	4,584人			
6	新町プール		38日	7,869人(82.6%)	2,143人	23人	5,703人			
7	美好水遊び広場	第1回 10:00~12:00	38日	11,242人(89.1%)	5,630人	5人	5,607人	80円	50円	20円
		第2回 13:00~15:00								
		第3回 15:30~17:30								
計	7施設		1施設 38日	58,795人	22,803人	330人	35,662人			

※1 平成25年度の実績。

※2 2時間の入替制で1回当たりの料金。なお、市外利用者はいずれも倍額。



表 利用者数のピーク時との比較

	ピーク時	平成25年度	増減率
市民プール	S45: 63,618人	11,772人	-81.5%
小柳プール	S59: 24,416人	7,026人	-71.2%
白糸台プール	S59: 29,929人	8,020人	-73.2%
西府プール	S59: 18,389人	6,055人	-67.1%
武蔵台プール	S59: 27,690人	6,811人	-75.4%
新町プール	S60: 30,544人	7,869人	-74.2%
美好水遊び広場	H3: 13,480人	11,242人	-16.6%

表 地域プールのコスト状況(平成25年度)

	市民プール	小柳プール	白糸台プール	西府プール	武蔵台プール	新町プール	美好水遊び広場	共通経費
支出(千円)	12,756	7,734	7,444	8,189	7,192	8,857	8,254	18,740
建物コスト	3,374	1,377	1,813	1,803	1,672	2,117	2,676	5,865
施設管理委託費	0	0	0	0	0	0	0	5,865
光熱水費	3,374	1,377	1,813	1,803	1,672	2,117	2,676	0
運営コスト	7,594	5,785	4,672	5,366	4,211	5,686	4,735	1,933
事業運営委託費	7,583	5,775	4,662	5,355	4,200	5,670	4,725	106
その他	11	10	10	11	11	16	10	1,827
人件費	0	0	0	0	0	0	0	7,171
施設修繕費	0	0	0	0	0	0	0	3,772
減価償却費相当額	1,787	572	959	1,020	1,309	1,053	843	0
収入(千円)	1,009	403	462	377	515	508	659	243

	市民プール	小柳プール	白糸台プール	西府プール	武蔵台プール	新町プール	美好水遊び広場
■利用者1人当たりコスト	1,402円/人	1,419円/人	1,247円/人	1,671円/人	1,375円/人	1,444円/人	1,053円/人
■市民1人当たりコスト	124円/人	105円/人	103円/人	106円/人	102円/人	109円/人	107円/人

※利用者1人当たりコスト= $\frac{\text{各施設の総経費(支出)}}{\text{各施設の利用者数}}$ + $\frac{\text{共通経費(支出)}}{\text{各施設の利用者数の合計}}$

※利用者1人当たりコスト= $\frac{\text{各施設の総経費(支出)}}{\text{市民}}$ + $\frac{\text{共通経費(支出)}}{\text{市民}}$

※ 共通経費とは、施設ごとに分けることができない、7施設全体でかかるコストのこと

アンケートにご協力をお願いいたします。

アンケート参考資料【概要】

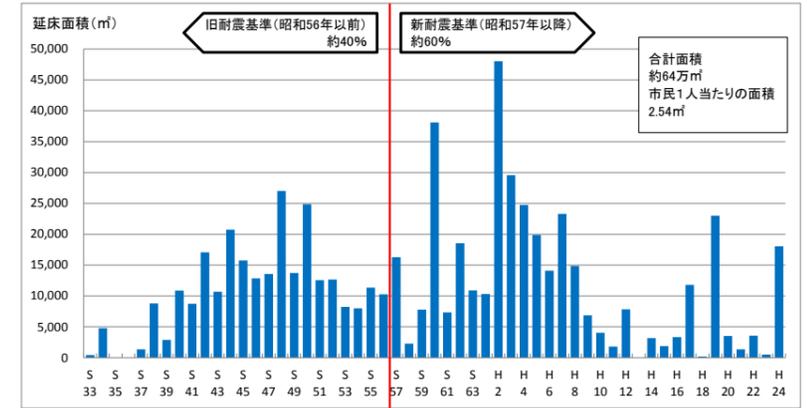
1 本市の公共施設を取り巻く状況について

① 公共施設の状況

人口増加が急激に進んだ昭和40~50年代前半に多くの公共施設が整備されましたが、それら施設の老朽化が進んでいます。

今後施設の改修や建替えといった「施設の更新」が必要となる時期が一齐に訪れますが、膨大な費用が必要となることから、早急な対応が必要な状況です。

図 公共施設の築年度別整備状況

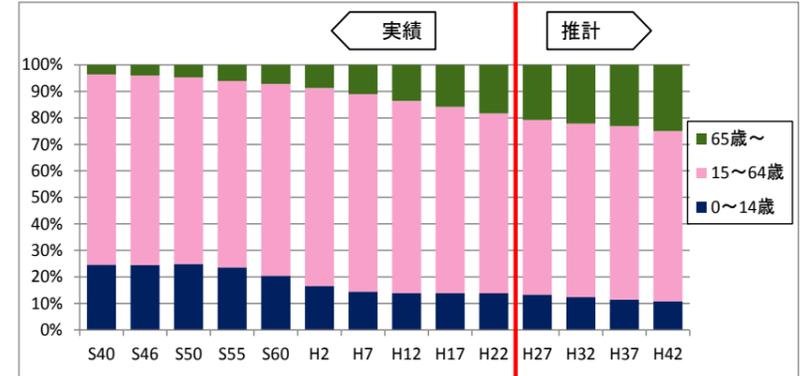


② 人口の状況

推計では、少子高齢化の急速な進展と、全人口に占める生産年齢人口(15~64歳の人口)の割合の減少が見込まれています。

このことは、財政面に影響を与えるだけでなく、公共施設に対する市民ニーズにも変化が生じることから、長期的な視点に立った検討が必要となります。

図 年齢階層別人口割合の推移

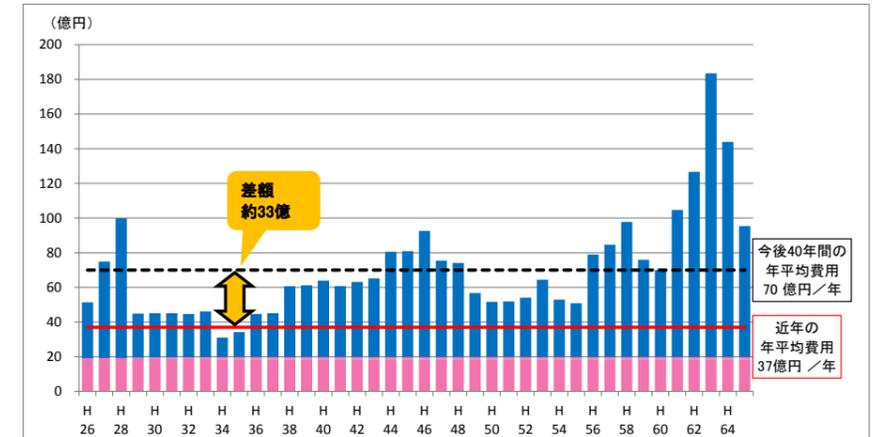


③ 財政の状況

少子高齢化の進展などによる市税収入の減少や、福祉にかかる費用(扶助費)の増加など、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれます。

そのような中、今後40年間で公共施設の維持更新にかかる費用は、年平均70億円と見込まれます。この金額は近年の費用(年平均37億円)の約2倍であり、既存の施設を全て維持していくことは困難です。

図 公共施設にかかる維持更新コストの推計

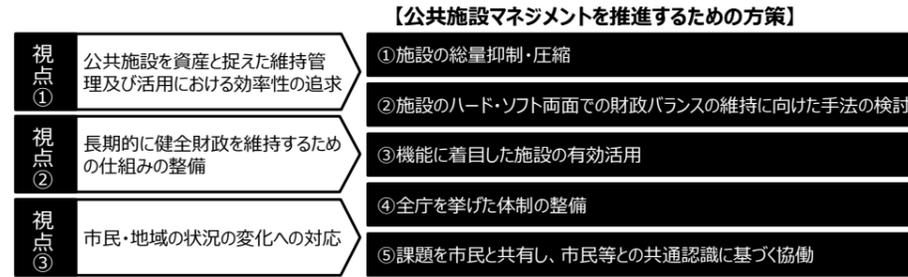


次世代に過度な負担を残すことなく、これまで整備してきた良好な財産を引き継いでいくためには、施設の適切な維持管理と有効活用に取り組む必要がある。

次のページへ進む

2 公共施設を取り巻く課題の解決に向けた方針：公共施設マネジメント

本市では公共施設（建築物）を自治体経営の視点から総合的に企画、管理及び有効活用していくため、平成 24 年 5 月に「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、施設の量と質の両面で見直しを進めています。



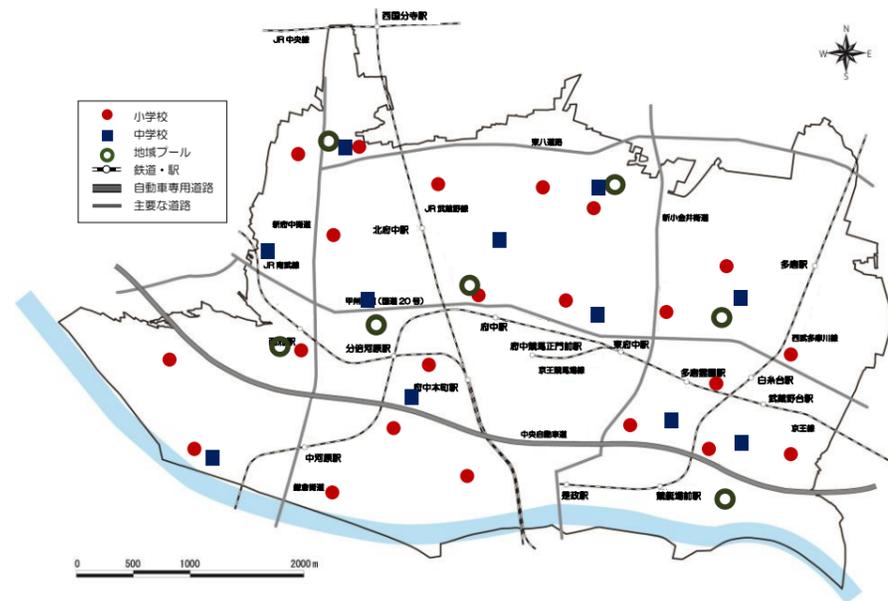
3 公共施設マネジメントの具体的な取組：第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン

昨年8月には、各施設における検討内容やスケジュールなどを定めた「第1次府中市公共施設マネジメント推進プラン」を定めました。その中で、検討内容に関連性があり、ともに検討を行うことによる相乗効果が期待できる施設については、モデル事業として、一体的に検討を進めます。

今年度は、モデル事業2として「学校施設の更なる活用」の検討を行っています。

図表 モデル事業2「学校施設の更なる活用」の概要

モデル事業の目的	対象施設	検討内容
様々な機能を有する学校施設の更なる活用に向け、機能が重複する学校プールの活用を検討するほか、将来を見据えた検討を行う。	1 小学校（22校）	・学校プールの市民への開放、学校施設の複合化など、学校施設の更なる活用方策を検討する。
	2 中学校（11校）	
対象施設との関連性	3 地域プール（7施設）	・利用期間や既存施設の有効活用の観点から、地域プールは処分を検討する。なお、機能については学校プールの活用を検討する。
機能-屋外プールを有する施設 地域の市民を利用者として想定した施設		



4 今後に向けた取組

モデル事業の取組は、公共施設の最適化を進める上で大変重要なステップであることから、市民の皆様のお考えを伺うことを目的として、本アンケートを実施します。アンケートでいただいたご意見は、今後の公共施設マネジメントの推進に当たり、参考とさせていただきます。

5 対象施設の詳細

① 小学校

	施設名	延床面積	竣工年度 ※1	築年数 ※2	耐震化		児童数 ※3	学級数 ※3
					診断	改修		
1	第一小学校	9,217 m ²	S52年	37年	実施	実施	752人	25
2	第二小学校	8,182 m ²	H11年	25年	不要	不要	969人	32
3	第三小学校	8,059 m ²	S39年	50年	実施	実施	825人	29
4	第四小学校	5,486 m ²	S38年	51年	実施	実施	446人	16
5	第五小学校	6,443 m ²	S38年	51年	実施	実施	547人	21
6	第六小学校	6,469 m ²	S38年	51年	実施	実施	824人	24
7	第七小学校	5,826 m ²	S37年	52年	実施	実施	359人	12
8	第八小学校	8,508 m ²	S38年	51年	実施	実施	964人	32
9	第九小学校	7,649 m ²	S40年	49年	実施	実施	425人	21
10	第十小学校	8,293 m ²	H24年	2年	不要	不要	776人	24
11	武蔵台小学校	6,119 m ²	S41年	48年	実施	実施	311人	12
12	住吉小学校	7,535 m ²	S42年	47年	実施	実施	607人	25
13	新町小学校	5,223 m ²	S43年	46年	実施	実施	304人	11
14	本宿小学校	6,558 m ²	S44年	45年	実施	実施	773人	23
15	白糸台小学校	5,319 m ²	S44年	45年	実施	実施	525人	16
16	矢崎小学校	5,119 m ²	S45年	44年	実施	実施	352人	12
17	若松小学校	5,778 m ²	S47年	42年	実施	実施	635人	20
18	小柳小学校	6,387 m ²	S47年	42年	実施	実施	672人	22
19	南白糸台小学校	6,074 m ²	S48年	41年	実施	実施	587人	21
20	四谷小学校	6,602 m ²	S48年	41年	実施	実施	621人	19
21	南町小学校	6,548 m ²	S49年	40年	実施	実施	476人	17
22	日新小学校	5,893 m ²	S52年	37年	実施	実施	496人	17
計	22校	147,824 m ²			建物は耐震化済み		13,246人	451



第一小学校



武蔵台小学校



日新小学校

② 中学校

	施設名	延床面積	竣工年度 ※1	築年数 ※2	耐震化		生徒数 ※3	学級数 ※3
					診断	改修		
1	第一中学校	10,348 m ²	S38年	51年	実施	実施	589人	21
2	第二中学校	12,107 m ²	S41年	48年	実施	実施	697人	23
3	第三中学校	13,344 m ²	H19年	7年	不要	不要	598人	21
4	第四中学校	12,483 m ²	S44年	45年	実施	実施	634人	20
5	第五中学校	13,339 m ²	S51年	38年	実施	実施	539人	15
6	第六中学校	11,612 m ²	S40年	49年	実施	実施	607人	17
7	第七中学校	9,974 m ²	S42年	47年	実施	実施	279人	9
8	第八中学校	9,621 m ²	S48年	41年	実施	実施	618人	16
9	第九中学校	9,384 m ²	S51年	38年	実施	不要	364人	11
10	第十中学校	8,757 m ²	S54年	35年	実施	実施	325人	10
11	浅間中学校	9,162 m ²	S56年	33年	実施	不要	588人	16
計	11校	58,510 m ²			建物は耐震化済み		5,838人	179



第一中学校



第十中学校

※1 児童の利用する最も古い校舎の年度。

※2 平成25年度末時点の経過年数。

※3 平成26年5月1日現在。なお、特別支援学級を含む。

表 児童生徒数のピーク時との比較

	ピーク時	平成26年	増減率
府中市	S56：25,397人	19,084人	-24.9%
【参考】全国	S57：1,753万人	1,010万人	-42.4%